

## 埋葬に係る実践事例



推進校は、飼育動物が死亡した際に、児童に生命の尊さを伝える取組を実施しています。また、学校担当獣医師から、遺体の検案、埋葬場所の準備、埋葬の処理などについて支援を受けています。



### 大田区立赤松小学校

#### 【実践の概要】

- 2017年の2月から3月にかけて、モルモット3匹が息をひきとりました。2度目の冬を迎える2匹と、飼育して6年が経過している1匹でした。
- 飼育をしている学年に別れがあったことを話し、実際になきがらとのお別れの会を設けました。
- その後、全校へ伝え、それぞれのモルモットが飼育されていたゲージにたくさんの花や手紙が添えられました。1週間ほど「お別れのコーナー」を設けました。



お別れしたモルモットのコーナー

#### 【児童の反応】

- モルモットの死を受け入れるまで、時間が必要でした。
- 死を受け入れることによって、モルモットにとってよりよい環境を考え、子供たちなりに調べたり実際に試してみたりして、更に飼育活動を充実できるものにしていきました。
- モルモットの飼育を通して命を守る活動をしているということに、多くの児童が気付くことができました。